令和7年度　評価規準

学校名：江戸川区立葛西中学校

教科	特別活動	学年	全学年

学級活動

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1　学級活動 (1)学級や学校における生活づくりへの参画 ア　学級や学校における生活上の諸問題の解決	8	学級や学校における生活をよりよくするための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践することができる。	○生活上の課題を見いだし、互いの意見や考えを認め合うことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付ける。	○学級や学校における生活がよりよいものになるよう、課題を見いだし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践している。	○学級や学校における生活をよりよくするために、自らの考えや目標を実現できるよう他者と協力し自分事として主体的にその解決に関わろうとしている。
(1)学級や学校における生活づくりへの参画 イ　学級内の組織づくりや役割の自覚	5	学級生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織を作り、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践することができる。	○学級内における生活上の役割を担う活動やグループ活動の意義を理解し、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力することができるようになる。	○話し合い活動を通して、学級としての目標の実現のために必要な組織を考えたり、学級や自己の課題解決に必要な役割を自覚し実践している。	○学級内のよりよい組織づくりのために、自他のよさを生かした役割を分担したり互いに高めあうことができるようになることで、学級や学校の生活を向上させようとしている。
(1)学級や学校における生活づくりへの参画 ウ　学校における多様な集団の生活の向上	6	生徒会など学級の枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、学級としての提案や取り組みを話し合って決めることができる。	○よりよい集団生活や集団活動とは何かについて、話し合って解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付ける。	○集団生活がよりよいものになるよう、課題を見いだし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践している。	○集団生活を充実したものにするために、自らの考えや目標を実現できるよう他者と協働しながら合意形成を図り、よりよい集団づくりを目指している。
(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ア　自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成	3	自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を発揮しながらよりよい集団生活をつくること。	○学校生活や社会生活において互いを尊重し合うことが重要であることを理解し、自己の個性を肯定的に捉え、自他のよさや可能性に気付き、それらを生かして協力し合える人間関係を築くことができるようになる。	○学級・学校内にとどまらず、より広い意味での人間関係の在り方を考え、話し合い活動を通して意思決定を行い、様々な集団の中での人間関係をよりよく形成していくことができている。	○自己理解を一層深めるとともに、多様な他者の良さを見付け、豊かな人間関係を育て、共に将来の夢や希望をもって生きていこうとしている。
(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 イ　男女相互の理解と協力	2	男女相互について理解するとともに、共に協力し尊重し合い、充実した生活づくりに参画すること。	○男女相互に独立した一個の人格として互いを尊重し合い、共に協力して充実した社会づくりに参画することの大切さを理解し、人間関係を築くに当たってのルールやマナーを大切にし、共に充実した学校生活を作ることができる。	○学校教育全体を通じて、人間の尊重や平等について考え、話し合い活動を通して意思決定を行い、男女が共同して社会に参画することや協力して充実した生活を築くことができる。	○家庭や地域社会における男女相互の理解と協力の在り方などについて幅広く考え、共に生きる人間として豊かに成長しようとしている。
(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ウ思春期の不安や悩みの解決、静的な発達への対応	2	心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り超えようとすること。	○思春期の心と体の発達や性に関する情報等を正しく理解し、自己の悩みや不安を解消しながら自他の人格を尊重した行動ができる。	○一人の悩みを自分のことのように共感して考えることができる雰囲気を学級の中につくるために話し合い活動を通して意思決定を行い、思春期特有の問題を乗り越えることで、人間としての成長につなげることができる。	○心や体に関する正しい理解を基に、自己の行動に責任をもち、悩みや不安に向き合う経験や学びを人間としての成長につなげようとしている。

令和7年度　評価規準

学校名：江戸川区立葛西中学校

(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 エ　心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成	2	心身の機能や発達、心の健康についての理解を深め、生涯にわたって積極的に健康の保持増進を目指し、安全に生活することができるようにする。	○現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進するために、節度ある生活を送り、自己管理を行うことの意義やそのために必要となることを理解し、日常及び災害時の安全確保に向けた正しい情報の収集と理解ができるようになる。	○学校内外における自己の生活を見直し、話し合い活動を通して自らの生活環境や健康維持に必要な生活習慣を等を考えるとともに、安全に配慮した的確な行動がとれるようになること。	○主体的に生活環境の改善や健康の維持増進に努めるとともに、状況に応じて自他の安全を確保する態度を育てようとしている。
(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 オ　食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成	1	自分の食生活を見直し、自ら改善して、生涯にわたって望ましい食習慣が形成され、食事を通してよりよい人間関係や社交性が育まれるようにする。	○健康や食習慣の正しい知識が大切であることを理解し、給食の時間の衛生的で共同的な楽しい食事の在り方等を工夫することができるようになる。	○自らの生活や今後の成長、将来の生活と食生活の関係について考え、望まし食生活を形成するために判断し行動ができる。	○食事を通して健康な心身や充実した生活を意識して、主体的に適切な食習慣を形成しようとしている。
(3)一人一人のキャリア形成と自己実現 ア　社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用	2	現在及び将来の学習と自己実現のつながりを考えたり、自主的に学習する場としての学校図書館等を活用したりしながら、学ぶことと働くことの意義を意識して学習の見通しを立て、振り返ること。	○現在の学習が将来の社会・職業生活の基盤になることや、他社との関わりを通して自己の将来に関する考えを深めることの大切さを理解している。	○自己を見つめ、話し合い活動を通してこれまでの活動を振り返りながら、意思決定を行い、主体的に新たな学習に取り組むことができる。	○生徒が自分にふさわしい学習方法を見いだしたり、学習に意欲をもって主体的に取り組んだりする上で、自主的な学習を深める場としての学校図書館を積極的に活用しようとしている。
(3)一人一人のキャリア形成と自己実現 イ　社会参画意識の醸成や勤労観・職業感の形成	2	社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動すること。	○他者と協力し合いながら、自らの能力や適性を生かして仕事や役割を担うことが社会造りにつながることなど、勤労や職業について理解を深めている。	○勤労や職業と自己実現との関係について考え、話し合い活動を通して意思決定し、自分なりの勤労観・職業感を醸成していくことができる。	○社会の形成者として、自らを生かした責任ある行動を取り、社会生活における課題の改善に向けて貢献しようとする態度を養おうとしている。
(3)一人一人のキャリア形成と自己実現 ウ　主体的な進路の選択と将来設計	2	目標をもって、生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えること。	○中学校卒業後の進路や社会生活に関する幅広い情報を理解し、自分を見つめ、目指すべき自己の将来像を描くことができる。	○生き方や進路に関する各種の情報を収集して活用するとともに、話し合い活動を通して、自分自身の興味・関心などの個性を理解した上で、意思決定し、自分の将来の生き方や生活について見通しをもち、進路選択を行うことができる。	○生涯にわたって段階的な目標の達成に向けて、主体的に学習に取り組み、自らの社会的・職業的自立に向けて努力しようとする態度を育てようとしている。

令和7年度　評価規準

学校名：江戸川区立葛西中学校

教科	特別活動	学年	全学年

生徒会活動

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2　生徒会活動 (1)　生徒会の組織作りと生徒会活動の計画や運営	5	生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見いだし解決するために話し合い、合意形成を図り実践すること。	○学校生活充実と向上のために、生徒の総意によって目標を設定し、役員選挙を通した組織作りや役割分担を行って協働して実行することの意義を理解し、そのために必要な計画や運営、合意形成の仕方などを身に付けている。	○生徒総会や各種委員会活動において、学校生活の充実と向上のための課題や生徒の提案を生かした活動の計画について考え、課題解決の方法や役割の決定、その実践に取り組むことができるようにする。	○集団の形成者として、多様な他者と、互いの個性を生かして協力し、積極的に学校生活の充実と向上を図ろうとする態度を養おうとしている。
(2)学校行事への協力	8	学校行事の特質に応じて、生徒会の組織を活用して、計画の一部を担当したり、運営に主体的に協力したりすること。	○学校行事の意義を理解し、生徒会としての意見を生かすための組織や全校生徒の協働を図る仕組み作りなどについて理解している。	○学校行事の特質に応じて、生徒会としてどのような協力を行うことが学校の充実につながるか考え、話し合い、決めたことに協力して取り組んだりできるようにする。	○他の生徒と協力して、学校行事に協力する活動に取り組むことを通して学校生活の充実と向上を図ろうとする態度を養おうとしている。
(3)ボランティア活動などの社会参画	2	地域や社会の課題を見いだし、具体的な対策を考え、実践し、地域や社会に参画できるようにすること。	○よりよい地域づくりのために自分たちの意見を生かし、主体的に社会参画するために必要なことを理解し、仕方を身に付けている。	○地域や社会の課題を解決するために、生徒会の組織を生かして取り組むことができる具体的な対策を考え、主体的に実践することができる。	○地域や社会の形成者として、地域や社会生活をよりよくしようとする態度を養おうとしている。

令和7年度　評価規準

学校名：江戸川区立葛西中学校

学校行事

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3　学校行事 (1)儀式的行事	5	学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機づけとなるようにすること。	○儀式的行事の意義や、その場にふさわしい参加の仕方について理解し、厳粛な場における儀式やマナー等の規律や気品のある行動をとることができるようにする。	○学校生活の節目において先を身とおしたり、これまでの生活を振り返ったりしながら、新たな生活への自覚を高め、気品ある行動をとりことができるようにする。	○厳粛で清新な気分を味わい、行事を節目としてこれまでの生活を振り返り、新たな生活への希望や意欲につなげ用とする態度を養おうとしている。
(2)文化的行事	5	平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするよいうにすること。	○他の生徒と協力して日頃の学習や活動の成果を発表したり、美しいものや優れたものを創り出し、自ら発表し合ったり、芸実的なものや伝統文化を鑑賞したりする活動に必要な知識や技能を身に付けるようにする。	○他の生徒と協力して日頃の学習や活動の成果を発表したり、美しいものや優れたもの、芸術的なものや地域や我が国の伝統文化に触れたりして、自他の個性を認め、互いに高め合うことができるようにする。	○生涯にわたって、多様な文化芸術に親しむとともに、集団や社会の形成者として伝統文化の継承や新たな文化の創造に寄与しようとする態度や、自己の成長を振り返り、自己を一層慎重させようとする態度を養おうとしている。
(3)健康安全・体育的行事	5	心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすること。	○身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等の非常時から身を守ることの意義を理解し、必要な行動を仕方をなどを身に付ける。また、体育的な集団行動の意義を理解し、規律ある集団行動の仕方を身に付けるようにする。	○自己の生活を振り返り、健康、安全、防災、運動や体力の向上に関する課題と解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動することができるようにする。また、運動することのよさについて考え、集団で協力してとりくむことができるようにする。	○生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を実践したりしようとする態度を養おうとしている。また、運動に親しみ、体力の向上に積極的に取り組もうとする態度を養おうとしている。
(4)旅行・集団宿泊的行事	7	平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの手段生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにすること。	○豊かな自然や文化・社会に親しむことの意義を理解するとともに、校外における集団行動の在り方、公衆道徳などについて理解し、必要な行動の仕方を身に付けるようにする。	○豊かな自然や文化・社会に親しむことの意義を理解するとともに、校外における集団行動の在り方、公衆道徳などについて理解し、必要な行動の仕方を身に付けるようにする。	○日常とは異なる環境や集団生活において、自然や文化・社会に親しみ、新たな視点から学校生活や学習活動の意義ををを考えようとする態度を養おうとしている。
(5)勤労生産・奉仕的行事	2	勤労の尊さや生産の喜びを体得し、職場体験活動などの勤労観・職業観に関わる啓発的な体験が得られるようにするとともに、共に助け合って生きることの喜びを体得し、ボランティア活動などの社会的奉仕活動の精神を養う体験が得られるようにすること。	○働くことの意義、社会的・職業的な自律について理解し、ボランティア活動などの仕方について必要な知識や技能を身に付けるようにする。	○勤労生産や奉仕に関して自分のできることを判断し、多様な他者と協力して実践することができるようにする。	○勤労観や職業観を深めたり社会奉仕の精神を養ったりして、進んで勤労生産や奉仕に関わる活動に積極的に取り組み、社会に貢献しようとする態度を養おうとしている。